

## 令和7年度第1回大衡村総合教育会議 議事録

1. 日時：令和8年2月25日(水) 午前11時00分～午後0時40分
2. 場所：大衡村役場2階 会議室
3. 協議：(1) 部活動地域展開の概要について  
(2) 大衡村立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画(案)について  
(3) 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)について  
(4) 長期欠席・いじめ等の状況(1月末現在)について
4. 出席者：大衡村長 小川ひろみ、教育長 丸田浩之  
教育長職務代行者 渡邊勇  
教育委員 齋藤さと子、文屋栄悦、佐竹由加  
学校教育課 参事 福田美穂、課長補佐 千葉岳史  
社会教育課長 堀籠緋沙子  
総務課長 後藤広之、主事 安齋彩(書記)

### 5. 議事の経過

#### 1. 開会

#### 2. 村長挨拶(開催趣旨)

総合教育会議は、村長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本村の教育のあり方について重点的に議論する大切な場であることを説明。1. 部活動の地域展開については、少子化が進む中で、村の子供たちが将来にわたりスポーツや文化活動に親しめる環境をどう維持していくか、受け皿となる地域団体との連携や指導者の確保など、本村の実情に即した具体的な展開案について議論を深めたい。2. 教職員の業務量管理・健康確保措置については、質の高い教育を維持するためには、先生方が心身ともに健康で、子供たちと向き合う時間を十分に確保できる環境が不可欠である。「学校業務の精選」と「教員の働き方改革」を実効性のあるものにするため、本村における具体的な実施計画案について検討したい。3. 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

について「地域とともにある学校づくり」を加速させるため、コミュニティ・スクールの活性化は鍵となるため、学校、保護者、そして地域住民が目標を共有し、村全体で子供たちを育む仕組みをどう充実させていくか、現状と課題を確認したい。4.長期欠席・いじめ等の状況について不登校やいじめの状況については、全国的にも予断を許さない状況が続いている。本村においても、一人ひとりの子供のサインを見逃さず、迅速かつ組織的に対応するための体制整備について、改めて共有を図りたい。いずれの議題も、行政と教育委員会が車の両輪となって取り組むべき喫緊の課題ばかりであると述べた。

### 3. 協議

大衡村総合教育会議設置要綱第4条に基づき、議事の進行は小川村長となり進行する。

#### (1) 部活動地域展開の概要について

社会教育課堀籠課長が概要について説明

概要：国のガイドラインに基づき、部活動地域展開の概要について説明。大衡村も同様の方向性で進めることとしている。現在は改革推進期間になっており、改革実行は令和11～13年度となっている。休日の部活動については、改革実行期間内に原則すべての学校部活動において、地域展開の実現を目指していきたい。平日についても、各種問題を解決しつつ取り組みたい。大衡村の現状としては、令和7年10月に地域展開検討委員会の第一回目を開催し、種目毎に地域展開に向けた状況、進捗状況や懸案事項等を協議した。地域展開を行うにあたって、受け皿となってくれる部活動もあるが難しい部活もあり、その際は宮城県に登録されている登録者を利用したいとしている。

各委員からの意見（要旨）

<小川村長>

1学年1クラスの少子化の中で、部活動の維持が大変になってきている。その時々に合わせて部分で努力を行う必要がある。広域で考えなければならぬ部活動もあるのではないかと思う。

<渡邊教育長職務代行者>

部活動地域展開の移行期間が一番大変なのではないか。中学校の指導者やスポーツ少年団の指導者のマッチングが大切である。

## <文屋委員>

国のガイドライン通りに行うのではなく、前倒しに移行するような形にしていく必要があるのではないかと思う。少子化で今後近隣の学校と合同のチームで動いていくなど、考えなければならないところもあるため、部活動の広域展開も考えてほしい。

## (2) 大衡村立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画(案)について

学校教育課 千葉課長補佐が概要について説明

概要：学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)に基づき、国の定める公立学校の教育職員の業務量の適切な管理、その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置に関する指針に即して、令和7年度中に業務量管理・健康確保措置実施計画を定めることになった。策定のポイントであるが、実施計画に目標・内容・実施に関し必要な事項を定めることとし、変更したときは遅滞なく村ホームページで公表し、総合教育会議に報告する。実施計画の実施状況について毎年度把握し、村ホームページで公表し、総合教育会議にて報告することとしている。実施計画の目標としては、時間外在校等時間に関する目標、ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標としている。計画の期間は令和8年度から令和11年度までの4年間、学校と教師の業務の3分類を踏まえた業務の見直しや適定化を図る。大衡村のスケジュールとしては、教育委員会では昨年より本計画の作成を進めており、今回の計画案を基に、3月の教育委員会で議案として上げ、承認をしてもらい、計画をスタートさせたいと考えている。

また、給特法についての説明、小学校の教員採用試験の倍率の低下による教員の確保が難しいことも説明があった。

各委員からの意見(要旨)

<小川村長>

教職員の心身ともに大切な部分である。教員志願者の問題・教職員の残業に関しても、この計画に網羅されているのではないかと思う。

<渡邊教育長職務代行者>

村の少年保護員が無くなるという話がある。補導された際の対応が教職員になってしまうと負担が出て来ると思う。外部でそのようなことがあった際の人員を確保する必要があるのではないか。又、小学校の授業や給食などの準

備等の協力できる人員も必要なのではないかと。業務量管理・健康確保措置実施計画の中で一つずつ出来ることを行う必要がある。

<文屋委員>

大衡村は条件が恵まれていると感じている。だが、文科省と現場との間にギャップがかなりあるのではないかと思う。各自治体で出来るものから実践して、教職員の環境を変えていくのが一番なのではないかと思う。

(3) 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)について

学校教育課千葉課長補佐が概要について説明

概要：学校運営協議会とは、地域の住民の方や保護者等に参加してもらい、学校の取り組みの方針など教育活動や、小学校・中学校の困っていることなどを話し合いの中でより良い形として、学校の運営を取り組むことが可能となるものである。令和8年4月から設立するにあたり、学校運営協議会の研究大会や、協議会の参加による情報収集等の説明があった。3月の教育委員会の定例会において規則の議案を提出し、承認後に4月から設立をしたい。第1回大衡村学校運営協議会の開催を4月下旬に行いたいと考えている。学校運営協議会を通じて、様々な諸課題が解決につながるのではないかと説明があった。

各委員からの意見(要旨)

<渡邊教育長職務代行者>

学校運営協議会はとても良い仕組みであると思う。これを基にして業務量管理の改善も進めてもらいたい。

<齋藤委員>

食は大切であると非常に感じている。食の大切さ(産地・生産者)を知る為に、学校運営協議会を通じて給食試食会の実施や、大衡村の野菜を使ったものが大切だと感じて欲しい。

(4) 長期欠席・いじめ等の状況(1月末現在)について

学校教育課福田参事が概要について説明

概要：資料に基づいて、長期欠席、いじめ等の状況についての説明を行う。

各委員からの意見(要旨)

<小川村長>

学校復帰だけが目標ではなく、自分から足を運ぶようにできる形に

していくのが大切である。

<丸田教育長>

全国的に不登校が増えている中、大衡村の数値を見ると減少傾向にあり、教職員が努力していると感じている。また、小・中とも不登校数が抑えられつつある。行政・学校側で出来ることは、学校が楽しいということが主になる。不登校・いじめの原因としては様々あるが、スマホの使い方等原因を探って減らしていきたい。

<福田参事>

小・中学校ともに別室を作って不登校者の対応をしている。また中学校で、「誰でも来たくなる学校づくりプラン」を生徒達中心で今年度行うなど工夫をしている。一人一人の状況を踏まえての対応をしている状況である。

4. 閉会

本議事録は事務局書記が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証明するためここに署名する。

令和8年2月25日

大衡村総合教育会議出席者

大衡村長 小川ひろみ

教育長 丸田 浩之

教育長職務代行者 渡邊 勇

教育委員 齊藤 さと子

教育委員 文屋 栄悦

教育委員 佐竹 由加